

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	急性胆嚢炎早期手術症例からみるTG18の再評価		
2. 対象患者	当科で急性胆嚢炎に対して2015年1月から2020年7月までに手術治療を行った患者さん		
3. 対象となる期間	2015年1月1日 ~ 2020年7月31日		
4. 実施診療科等	消化器外科		
5. 研究責任者	氏名	小笠原 健太	所属 消化器外科, 乳腺外科, 甲状腺外科
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	なし		
7. 研究の意義	現在の急性胆嚢炎診療の治療においては、Tokyo Guideline 2018が広く用いられており、一定の成果が得られています。しかし、まだまだ同ガイドラインには、改良の余地があると考えられます。本研究では、急性胆嚢炎における重症度判定、手術適応について後方視的に再評価することで、妥当性および問題点に関して検討します。		
8. 研究の目的	2015年1月から2020年7月の間に当院で手術を行った急性胆嚢炎症例44例を対象として、後方視的にその臨床像について検討します。		
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合の方法等)	診療録、血液画像検査を参照して、現病歴、既往歴、年齢、性別、身長、体重などの臨床所見、術式、合併症、予後などの手術関連情報を、統計学的手法を用いて関連性を見出し、Tokyo Guideline 2018の妥当性および問題点を明らかにします。		
10. 個人情報の保護	患者さん個人が特定される情報を公開することはありません。研究結果は学会等で報告されます。拒否の申し出があった場合は、研究対象から除外し、データを削除致します。ただし、既に匿名化のうえ解析済みの場合や、研究結果公表済みの場合は、データを修正することは出来ませんのでご了承願います。		
11. 利益相反に関する状況	本課題の研究代表者が所属する講座では大鵬薬品工業(株)、中外製薬(株)、アステラス製薬(株)、小野薬品工業(株)、(株)ヤクルト本社、エーザイ(株)、MSD(株)、日本イーライリリー(株)、第一三共(株)から寄附金を受領しており、利益相反状態にありますが、これらは本課題の資金源ではなく、研究は講座の研究グループによって公正に実施されます。		
12. 連絡先	弘前大学医学部附属病院 消化器外科, 乳腺外科, 甲状腺外科 小笠原 健太		
	電話	0172-39-5079	FAX 0172-39-5080